

# 九頭龍ブロック



中藤島

河合

森田

明新



平成 30 年度 中藤島地区子育て支援委員会 年間事業報告書

<p>子育て支援の現状や課題</p>	<p>母親の就業率が高く、早くから保育園や幼稚園に入園するため、隣近所や親同士のつながりが希薄化している。 幼いうちから継続的に地域の事業に参加し、異学年が協力しあえる活動の場を提供する。</p>
<p>取組内容</p>	<p>委員会(年 6 回) 7 月 25 日：平成 30 年度事業計画と収支予算について 10 月 5 日：平成 30 年度年間事業計画書の変更について(書面通知) 10 月 30 日：北陸新幹線高柳高架橋見学会開催について(書面通知) 12 月 18 日：科学実験「スライム時計を作ろう」の内容について 「お菓子作り」の内容について 「地域子育て支援委員会支援事業の見直し」について 2 月 2 日：科学実験「スライム時計を作ろう」の内容について 3 月 2 日：「お菓子作り」の内容について(書面通知)</p> <p>事業 6 月 15 日(金)～2 月 13 日(水)：ぴよぴよ学級(延べ 216 人) 6 月 30 日(土)：地区内の環境調査(250 人) 9 月 30 日(日)：中藤島感謝祭(20 人) 11 月 10 日(土)：北陸新幹線高柳高架橋見学 (「ちぐさ学級」合同で 27 人) 2 月 2 日(土)：科学実験「スライム時計を作ろう」(41 人) 3 月 16 日(土)：和菓子作りを体験しよう(48 人)</p>
<p>取組の成果</p>	<p>前年度の事業は参加者を全学年対象としたことから、参加者年齢の幅や事業の進捗にやや問題が生じたことを踏まえ、今年度は事業内容に応じて参加者を低学年、高学年と分けて実施した。北陸新幹線高架橋見学は公民館教育事業の「ちぐさ学級」と合同見学会としたため、参加者が重複した。科学実験は低学年対象で、特に 1 年生は保護者同伴としたため、事業は比較的順調に進められたと思う。 和菓子作りは全学年対象とし、子ども達は和菓子を作りながら会話が弾み、家へのお土産もあり楽しい事業になった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>子ども中心の事業になりがちなので、親とともに一緒に物を作ったり、身体を動かしたりする内容のものを考えていかなければならない。また異学年が同時に参加できるプログラムの検討が必要と考える。</p>

地区内の環境調査



## 北陸新幹線高柳高架橋見学



## 科学実験「スライム時計を作ろう」



## 和菓子作りを体験しよう



## ぴよぴよ学級（共催事業）



## 中藤島感謝祭（協力事業）





平成 30 年度 河合地区子育て支援委員会 年間事業報告書

<p>子育て支援の 現状や課題</p>	<p>福井の中でも広さでは 1、2 位を誇る地区。田園が広がり集落が点在する。2 世代 3 世代同居も多いが若い世代は共働きで家計を支える。大きな住宅団地が子どもの数の半分を占める。団地では 1 世代での生活が多く、団地と本村では生活様式が違う。習い事、家同士の距離、人数の問題もあり、小さいうちは子供同士で自発的に遊べない。また、都会でいう公園デビューで友達をつくり遊ぶ姿は親子ともない。最初の友達は保育園や幼稚園が多い。親世代も子育ての相談は子供の同級生同士でしているが、保護者会活動も仕事を優先し、率先しての活動ではない。</p> <p>子育てを通して親世代の社会性を高めることが必要かもしれない。</p>
<p>取組内容</p>	<p>委員会(年 2 回) 7 月 19 日：子育て支援委員会事業計画案検討 2 月 19 日：事業実施報告</p> <p>事業 5 月 25 日(金)：さつまいも植え(110 人) 10 月 10 日(水)：さつまいも掘り(110 人) 10 月 27 日(土)、28 日(日)：河合公民館文化祭(5 人) 3 月 3 日(日)：ワクドキ教室(24 人) 3 月 21 日(木)：ワクドキ教室(26 人) 通年(月 1 回)：茶道教室(30 人)</p>
<p>取組の成果</p>	<p>子育て支援事業でやってきた活動は、今後学校、保育園、公民館で引き続き取り組むことになった。さつまいもを育てる活動は、子どもの情操教育に役立ったと思う。お茶会活動は、子どもだけでなく親世代にも伝統文化に興味を持たせることに役立った。公民館活動の文化祭での収穫したさつまいものケーキ販売、PTA 会報の中でも地域活動の一つとして子育て支援委員会での活動を紹介した。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>公民館活動に期待したい。</p>

平成 30 年度 河合地区子育て支援委員会  
春に植えたさつまいもの成長とともに子どもと大人がともに成長することを目指して活動しました。一年間で子どもたちはすくすく大きくなりました。

茶道の一年間の修行の成果を親に披露



お母さんも挑戦



親子料理教室



できたさつまいもは文化祭で地域の方におすそ分け



平成 30 年度 森田地区子育て支援委員会 年間事業報告書

<p>子育て支援の現状や課題</p>	<p>森田地区の北東部には、新しい家や、マンションが建ち並び、核家族世帯が入居しどんどんと人口が増加している。そんな中、子育て中の親子が孤立しないように、子育てに関係する団体の協力を得て、ネットワークでつなぎ「まちも人もあたたかい」森田を目指す。</p>
<p>取組内容</p>	<p>委員会(年2回)              8月23日：30年度後期の子育て支援について              3月14日：31年度前期の子育て支援について</p> <p>事業              毎週水曜日：ひよこ広場(延べ2,255人)              (内容)わらべうた、絵本の読み聞かせ、プール遊び、育児相談、人形劇、ふれあい遊び、親子体操、手形足形アートの作成、おすし作り、おやつ作り、救急法の講習会など</p>
<p>取組の成果</p>	<p>毎年200人の赤ちゃんが生まれている森田地区では、地元仁愛女子短期大学や出張ひよこ広場の協力を得ることで、魅力あるプログラムを提供できた。また、子育て中の親子を支えるために、地区の子育てに関係する団体との接点を多くすることで、「まちも人もあたたかい」雰囲気を作った。参加者は喜んで参加し、申し込み時には各回キャンセル待ちが出るほどだった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>今後も、仁愛女子短期大学の協力を得ることで、専門的な知識をいかながら子育ての知識を学ぶ機会を提供したい。</p> <p>地区の子育てに関係する団体との交流をもっと増やしていきたい。その際、おもてなしで参加者がただのお客さんになってしまいがちなので、地域の団体と参加者がしっかり交流する場になるよう支援していきたい。</p> <p>母親だけでなく、父親や祖父母も参加しやすいような内容の企画も考えていきたい。</p> <p>対象となる方がどんなことを求めているかのアンケートを定期的にとるなどして把握し、ニーズに合った活動を進めていきたい。</p>









平成 30 年度 明新地区子育て支援委員会 年間事業報告書

<p>子育て支援の現状や課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出生率が高く、若い子育て世代が多い</li> <li>・ 転勤が多い家庭が多く、子育て中の親が孤立しがち</li> <li>・ 核家族化で子育ての不安や悩みを話し合える場が求められている</li> <li>・ 若い子育て世代と地域との交流</li> <li>・ 地区の二つの小学校児童同士の交流</li> </ul>
<p>取組内容</p>	<p>委員会(年 2 回) 1 月：中間報告 3 月：最終報告</p> <p>事業 毎月第 2、4 火曜日：おしゃべりルーム(64 人) ころころくらぶ(50 人) 子育てひろば(94 人) ニュースポーツ&amp;流しそうめん(49 人) 家庭教育学習会(60 人)</p>
<p>取組の成果</p>	<p>地域の子育て世代同士の交流が、各企画や「おしゃべりルーム」を通じて活発に行われた。 子育て支援委員会では意見交換も活発に行い、事業を進めていく上で大変参考になった。 児童館子育てひろばとの合同企画は好評で人気が高く、参加者も多かった。合同企画の結果、児童館と公民館の行き来が盛んになり元気に走り回る子どもの場合は児童館、まだ歩けない子どもの場合は公民館、という選択ができるようになった。地区の保育園・幼稚園の協力もあり、広範囲に広報ができた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>サークルの参加者が少なく、連絡網が機能していなかった。今年は全体的に人数が少なく、反応が鈍かったのが残念だった。対象を地区外に広げたり、広報の方法を変えたりするなどを試みたいと思った。育児中の話し相手、相談相手が欲しいという声もあったので、集いの場としてだけでなく地区の様々な人とのコミュニケーションができる場所や機会を提供できるように働きかけていきたい。</p>



4.17 「初めまして、おしゃべりルーム」



6.23 「七夕ミニ笹づくり」



7.27 「ビニールプールあそび」



8.16 「ニュースポーツ&流しそうめん」



8.16 「ニュースポーツ&流しそうめん」



9.13 「赤ちゃんの健康とお話」



11. 13 「ベビーママヨガ」



12.13 「ふわふわリース作り」



1.19 「お片付け講座」



定期開催「おしゃべりルーム」